

## 令和7年度 第2回教育課程編成委員会 報告

### 1. 開催日時

令和7年1月22日（木）16:30～17:45

### 2. 開催場所

3階会議室

### 3. 委員

	氏名	所属等	備考
	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長	
	宇都宮 彰治	元大阪市立学校園長	
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	
	萩野 寿美	勝山愛和第四幼稚園園長代理	
	川上 悦子	勝山愛和青葉台幼稚園園長代理	
	三上 教道	学校長	
	三上 聡子	学科長	
	西林 幸三郎	特任教授	
	吉本 春樹	専任教員	
	松葉 修孝	学務部長	
	中島 仁志	学務次長	

### 4. 議事

#### (1) 学校長挨拶

令和7年度に取り組んだ内容の報告を元に前回と継続して、教育保育現場の意見を拝聴し、令和8年度に向けて本校教育の質の向上、社会が求める保育者の養成を目指して、教育課程、教育内容、授業方法、学習の評価の点検・見直し・改善に取り組んでいきたい。

#### (2) 報告

##### ① 授業アンケート（授業評価）について

前回の教育課程編成委員会では、卒業学年における履修カルテ②<自己評価シート>から、保育者を目指す上での課題と考えている事項を考証したが、今回は学生による「授業評価アンケート（授業評価）」の結果から、授業に対する評価について報告したい。

設 問	令和 7 年度	令和 6 年度
① 授業の準備（授業の内容確認や予習）をして授業に臨んでいますか。	92.3%	95.6%
② 授業中、集中して意欲的・積極的（発言・発表等）に取り組んでいますか。	95.3%	96.1%
③ 授業を受けることで、自分の知識や技能が向上していると思いますか。	98.2%	97.8%
④ 教員の説明はわかりやすいですか。	96.3%	93.2%
⑤ 授業で使用したテキスト・資料は授業の内容理解に役立っていますか。	97.1%	95.8%
⑥ 質疑応答の機会が設けられており、質問に丁寧に答えてくれていますか。	96%	94.5%

- ・ 授業アンケートの集約結果によると、「1：そう思う、2：どちらかといえばそう思う」を合わせて、前年度と同様 96%の学生が授業を肯定的に捉えている。
- ・ 学生の一般的な傾向としても挙げられるコミュニケーション力や読解力の不足、学修意欲の低下がみられる。)をふまえて、学校とし「主体的に学び、考え、判断し、行動できる」保育者の育成をめざした授業改善に取り組んできている。  
具体的には、模擬保育やグループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションといったアクティブラーニングの積極的な導入や、授業後の振り返り（授業コメントシート）といった授業改善に加えて、到達目標の理解度・到達度を評価基準として、その場で考えたりまとめたりする内容の課題等を学生に課すことによって、単に実技・知識の獲得に留まらず、「好かれ、役立ち、なくてはならない」保育者の育成をめざした取り組みを進めている。
- ・ 「授業アンケート」の結果から、教員の授業改善の取り組みが学生の授業満足度に繋がっていることが洞察できる。しかしながら、学生個々でみると学習スキルの低くさから授業についていけない学生やコミュニケーション能力が育っていない学生、生活習慣が身についておらず日頃から授業を休みがちな学生もおり、学生のモチベーションを維持するために聴くだけの受け身的な授業ではなく、学生が主体となって取り組めるよう、毎回の授業で演習を取り入れる等、それぞれに授業改善に取り組んでいる。

## ② 令和 8 年度 教育課程について

- ・ 夜間主コース（昼夜開講制・2年課程）について … II部の教育課程をベースとして、3年課程分の授業を2年課程で実施するために、科目等の精選（学校独自科目）を行なった上で、要取得単位のうち 1/3 をオンデマンド授業として設定している。また、平日は夜間に対面授業を設定（一部II部他学年との合同授業あり）し、土曜日は昼間に対面授業を設定している（I部昼間コースと合同授業あり）。
- ・ 科目履修制度の導入 … 地域に開かれた学校として、学修の機会を広く一般の人々

に開放することを目的に科目等履修生制度を設定。幼稚園教諭免許状を既に有する者が、保育士資格の取得を目的として必要な科目を履修することが可能。

- 職業教育訓練施設の指定申請（I部昼間コースのみ） … 厚生労働省による職業教育訓練施設の指定機関として、保育士資格の取得を目的とした職業訓練生の受け入れ。厚生労働省（ハローワーク）を通じて、教育訓練費の5割（上限40万円）が支給され、資格取得後に就職した場合には訓練経費の2割（上限16万円）が追加支給される。

### (3) 意見交換

- 学生アンケートから、スマホ世代はニュースを見ないことから社会の動きに関心が薄く、AIを使うことで自分で考える力が弱くなっているといわれるが、一所懸命にやっている学生はいい保育士になると思う。
- 実習での絵本の読み聞かせなど、実践での子どもとのかかわりがどのように評価されているのか。それは将来に向けての学生の心の拠り所となっているのではないかと思う。現場として意欲的な学生との出会いは喜びである。

これらの意見をもとにして、次年度以降における本校の教育課程について、より充実したものになるよう検討していきたい。

## 令和7年度 第1回教育課程編成委員会 報告

### 1. 開催日時

令和7年9月11日（木）16:30～17:45

### 2. 開催場所

3階会議室

### 3. 委員

	氏名	所属等	備考
	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長	
	宇都宮 彰治	元大阪市立学校園長	
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	
	萩野 寿美	勝山愛和第四幼稚園園長代理	
	川上 悦子	勝山愛和青葉台幼稚園園長代理	
	三上 教道	学校長	
	三上 聡子	学科長	
	西林 幸三郎	特任教授	
	吉本 春樹	専任教員	
	松葉 修孝	学務部長	
	中島 仁志	学務次長	

### 4. 議事

#### (1) 学校長挨拶

教育課程編成委員会の会議の趣旨及び、保育者養成において必要とする内容について、令和7年度に取り組む内容報告から教育保育現場の意見を拝聴し、本校教育の質の向上、社会が求める保育者の養成を目指して、教育課程、教育内容、授業方法、学習の評価の点検・見直し・改善に取り組んでいきたい。

#### (2) 報告

##### ① 卒業学年の学生が自己の課題と考えている事項について

履修カルテ②<自己評価シート>から、学生が保育者を目指す上での課題と考えている事項を考証する。

- ・ 学生の自己評価を平均すると、クラス運営力 (3.6/5)、教育相談 (3.5/5)、教材分析能力 (3.7/5)、ICT の活用 (3.5/5)、授業構想力 (4.0/5) となっている。
- ・ 過去3年間を通して自己評価は年々上昇している。
- ・ 教職(保育者)を目指す上で課題と考えている事項については、設定保育、指導案作成 (13人)、子どもへの接し方、声掛け、信頼関係づくり (8人)、ICT (7人)、ビジネスマナー・言葉遣い (6人)、保護者対応 (5人)、クラスの運営 (4人)、職場での関係

づくり（4人）等があげられている。

② 卒業学年におけるプログラムについて

保育現場での実践力、即戦力を養うために、自己評価の低い項目を補完するための方策について。

a. 教職保育実践演習（2単位）

在学期間中に身に付けた専門的知識・実践力を振り返り、保育者として最低限必要な資質能力が備わっているかを確認する「学びの軌跡の集大成」として位置付けている科目。昨年度の授業内容としては、保育制度改革と保育者の資質、保護者対応と事例研究、子ども理解と気になる子どもの対応、指導案作成と模擬保育、保育の工夫などがある。今年度については、上記の「履修カルテ②<自己評価シート>」を精査した上で授業内容を確定する。

b. 特別講座について

特別講座の設定理由は、「望ましい人格形成と豊かな教養及び、質の高い専門職の養成を目的として、社会人として必要な知識、保育福祉現場で役立つ内容を時事的・学際的に精選し、主体的な学びの意欲を高める。」ことである。今年度予定している講座は以下の通りである。

・ 手話

特別支援教育の観点から、聴覚障害者を理解し、聴覚障害者の生活・文化を知り、コミュニケーション手段である手話を学ぶ。

・ マナー講習

社会人として必要なビジネスマナーの基本を身につける。

・ 救命講習

呼吸や心臓が止まったときに大切な「AEDの使い方」を含む心肺蘇生法で、主に乳児・小児に対する応急手当の方法を学ぶ。

・ 防犯講習

保育現場において、喫緊の課題である防犯対策を学び、子どもたちの安全を守るための知識を身に付ける。

・ メンタルヘルス講座

卒業・就職を控えて、自らの心身の健康や生活に影響を及ぼす様々な問題について事前に対処し、その影響を最小限のものにするためのセルフケアについて学ぶ。

③ リカレント教育の推進

昨今の多様なライフスタイルやライフステージの変化に応じた生き方や働き方が求められる社会の変化に対応して、社会人の学びを推進し、多様なニーズに対応する教育機会の拡充を図る。本校では、令和7年度より教育保育科第一部に夜間主コース（昼夜開講2年課程）を開設し、教育保育科第二部（夜間3年課程）とあわせて、社会人が働きながら学ぶことを支援してきた。

- ・ 保育士資格取得の特例制度に伴う特定科目履修（平成 26 年度より継続開講）  
幼稚園教諭免許状を有し、幼稚園等において「3 年以上かつ 4,320 時間以上」実務経験を有する方を対象として、特例教科目を修得した後に保育士試験によって資格を取得する。（2 年特例は未実施）
- ・ 保育士等キャリアアップ研修（令和 4 年度より開講）  
近年、子どもや子育てを取り巻く環境は変化し、保育所等に求められる役割も多様化・複雑化する中で、保育士の専門性の向上を図るとともに、職員のキャリアパスを見据えた職位の整備や、現場におけるリーダー的職員の育成のために、「大阪府保育士等キャリアアップ研修」※として実施している。
- ・ 科目履修制度の導入（令和 8 年度予定）  
科目等履修生制度は、科目等履修生として所定の科目を履修し、合格すると「単位」を修得できる制度。特に幼稚園教諭免許状または保育士資格を既に有する者が、保育士資格または幼稚園教諭二種免許状の取得を目的として必要な科目を履修することで幼稚園教諭免許、保育士資格を取得することが可能となる。
- ・ 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の導入（令和 8 年度予定）  
本校は、職業実践専門課程の認定を受けているため、厚労省の実施する「専門実践教育訓練給付金」の対象（2 年課程）となる。指定を受けると、受給の要件を満たす場合には、最大で受講費用の 80%が給付される。

### (3) 意見交換

- 質の高い保育者養成という観点から、履修カルテの結果が教育課程の成にどのように生かされているかをしっかり見極める必要があるのではないか。
- キャリアアップ研修、特にマネジメント研修については公立の園はともかく、私学ではあまりやってこなかった様に思うので、たいへん興味深い。

以上の意見を元に、次回（第 2 回）に継続していくこととした。